



2025年10月期 第3四半期決算補足説明資料

株式会社オービス（証券コード：7827）

2025年9月12日



売上高

(前年同期)

3 Q
累計

9,963 百万円

▲ +16.0%

(8,588 百万円)

営業利益

(前年同期)

3 Q
累計

559 百万円

▲ +24.5%

(449 百万円)

経常利益

(前年同期)

3 Q
累計

548 百万円

▲ +21.2%

(452 百万円)

売上総利益

(前年同期)

3 Q
累計

1,804 百万円

▲ +11.2%

(1,622 百万円)

営業利益率

(前年同期)

3 Q
累計

5.6%

▲ +0.4%

(5.2%)

親会社株主に帰属する 四半期純利益

(前年同期)

3 Q
累計

348 百万円

▲ +1.0%

(345 百万円)

ハウス・エコ事業において、大型物件の完工やM & A効果もあり、**増収**を実現。
 木材事業において、**原材料高や歩留率の低下**があったものの、
 ハウス・エコ事業において、受注時採算性の改善や原価管理の徹底により、**利益率が向上**。
 木材事業の落ち込みをカバーし、全社ベースでは**増収**を達成。

決算 ハイライト		売上高	9,963 百万円	+16.0 %	(前年同期比)
		営業利益	559 百万円	+24.5 %	(前年同期比)
		経常利益	548 百万円	+21.2 %	(前年同期比)
ト ピ ッ ク ス	木材事業	原木消化量は前年同期比 0.5%増 、梱包マーケットが低迷する中、 高い工場稼働率 を維持。外国産材から国産材への切り替えが更に加速、国産材(杉)の出荷比率は前年同期比 2%増の69% となり、外国産材(NZ松)を大きく上回る。			
	ハウス・エコ事業	2024年3月に連結子会社化した寿鉄工株式会社の業績寄与が当期から本格化。官公庁大型物件の完工もあり、 売上高、営業利益とも高い成長率を実現 。			
	太陽光発電 売電事業	パワーコンディショナーの故障 があったものの、日照時間が長くなる4月～7月は天候に恵まれたことにより、 売電収入が増加し、増収増益に寄与 。			
	ライフクリエイト 事業	一部料金の値上げ効果 があったものの、クラブハウス及びその他付帯設備等の 修繕・改修に係る費用が増加 。			

2025年10月期 第3四半期 連結業績

木材事業は、中国経済の低迷により**梱包マーケットが低迷**するも、これまでとは**異なった市場・分野での顧客層が広がり**をみせている。

これにより**前年同期を若干上回る生産(原木消化)**を実施。

一方、ハウス・エコ事業は、**大幅な増収増益**を達成。全社としては、**営業利益の増加**を確保。

(単位:百万円)	2024年10月期 第3四半期	2025年10月期 第3四半期	増 減 額	前年同期比
売上高	8,588	9,963	+1,374	+16.0%
木材事業	5,567	① 5,650	+82	+1.5%
ハウス・エコ事業	2,408	② 3,708	+1,299	+53.9%
太陽光発電売電事業	315	③ 325	+9	+3.1%
ライフクリエイト事業	280	④ 279	-1	-0.4%
不動産事業	16	⑤ -	-16	-
売上総利益	1,622	1,804	+182	+11.2%
販売管理費	1,173	⑥ 1,244	+71	+6.1%
営業利益	449	559	+110	+24.5%
木材事業	379	⑦ 240	-139	-36.6%
ハウス・エコ事業	98	⑧ 333	+234	+238.4%
太陽光発電売電事業	191	215	+23	+12.1%
ライフクリエイト事業	50	27	-22	-44.5%
不動産事業	9	-	-9	-
全社費用	-280	⑨ -256	+23	-8.4%
経常利益	452	548	+96	+21.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	345	348	+3	+1.0%

① 梱包マーケットは**低迷**するも、製・商品出荷量は前年同期と**同水準を維持**。

② 期首から**寿鉄工株式会社**の売上高が連結対象(前年同期は第3四半期(5月～7月)から連結)。当社において、官公庁の年度末を迎え順調に大型物件の引き渡し完了。

③ パワーコンディショナーの**故障**があったものの、空梅雨の影響により日照時間が長く発電量が増加。

④ 一部料金の**値上げ**を行ったものの、猛暑などの影響により、**来場者数は微減**。

⑤ 2024年10月期に賃貸用不動産2棟を譲渡、**不動産事業から撤退**。

⑥ 期首から**寿鉄工株式会社**の販管費が連結対象(前年同期は第3四半期(5月～7月)から連結)。当社において、昇給・賞与増による**人件費が増加**。

⑦ 原材料高や歩留率の**低迷**により減益。

⑧ 原価管理の徹底や価格転嫁等により**大幅な増益**を達成。

⑨ 株式取得関連費用(アドバイザー費用等)の**減少**。

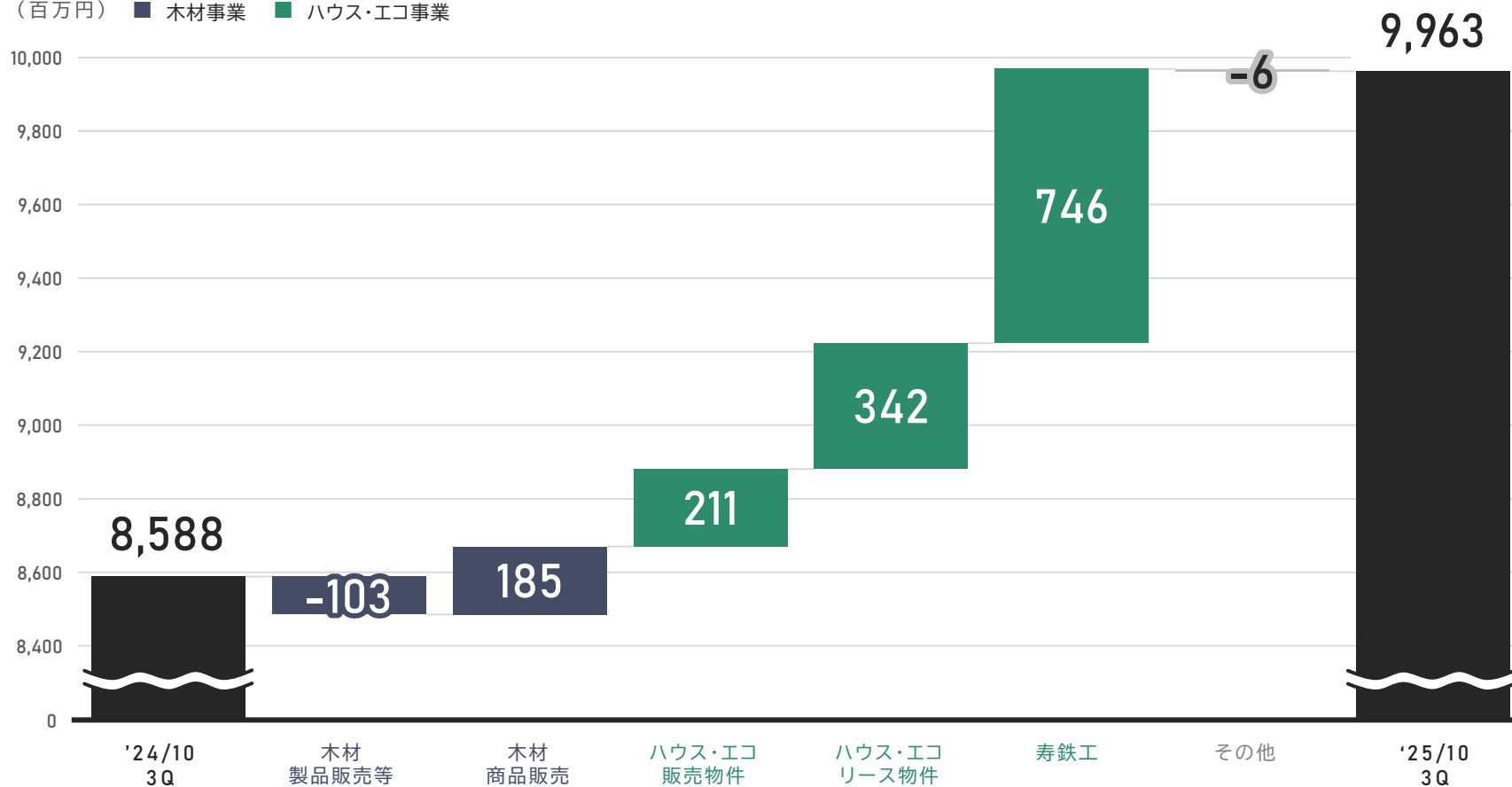
売上高

前年同期比



+1,374 百万円
+16.0%

(百万円) ■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業



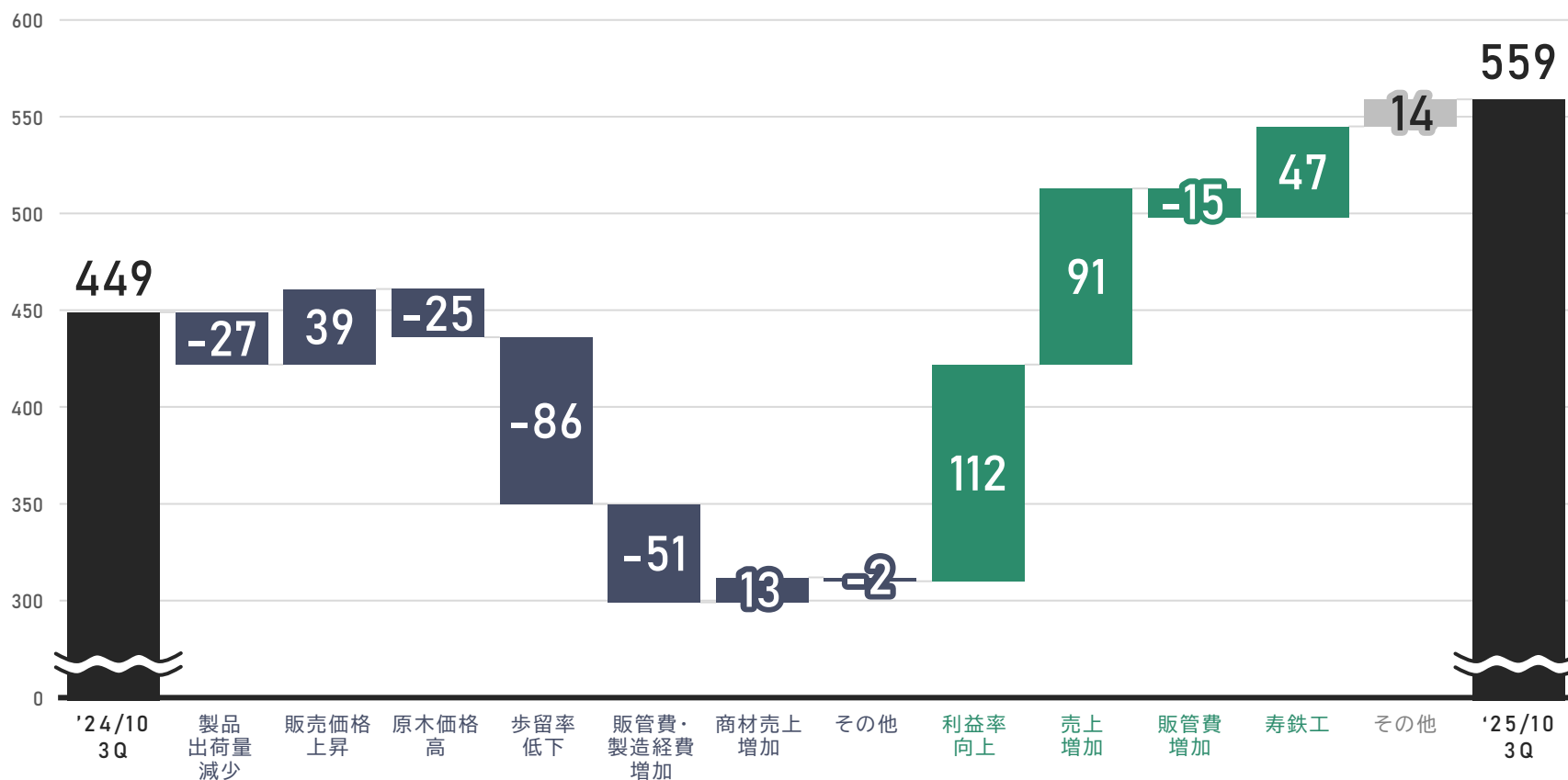
営業利益

前年同期比



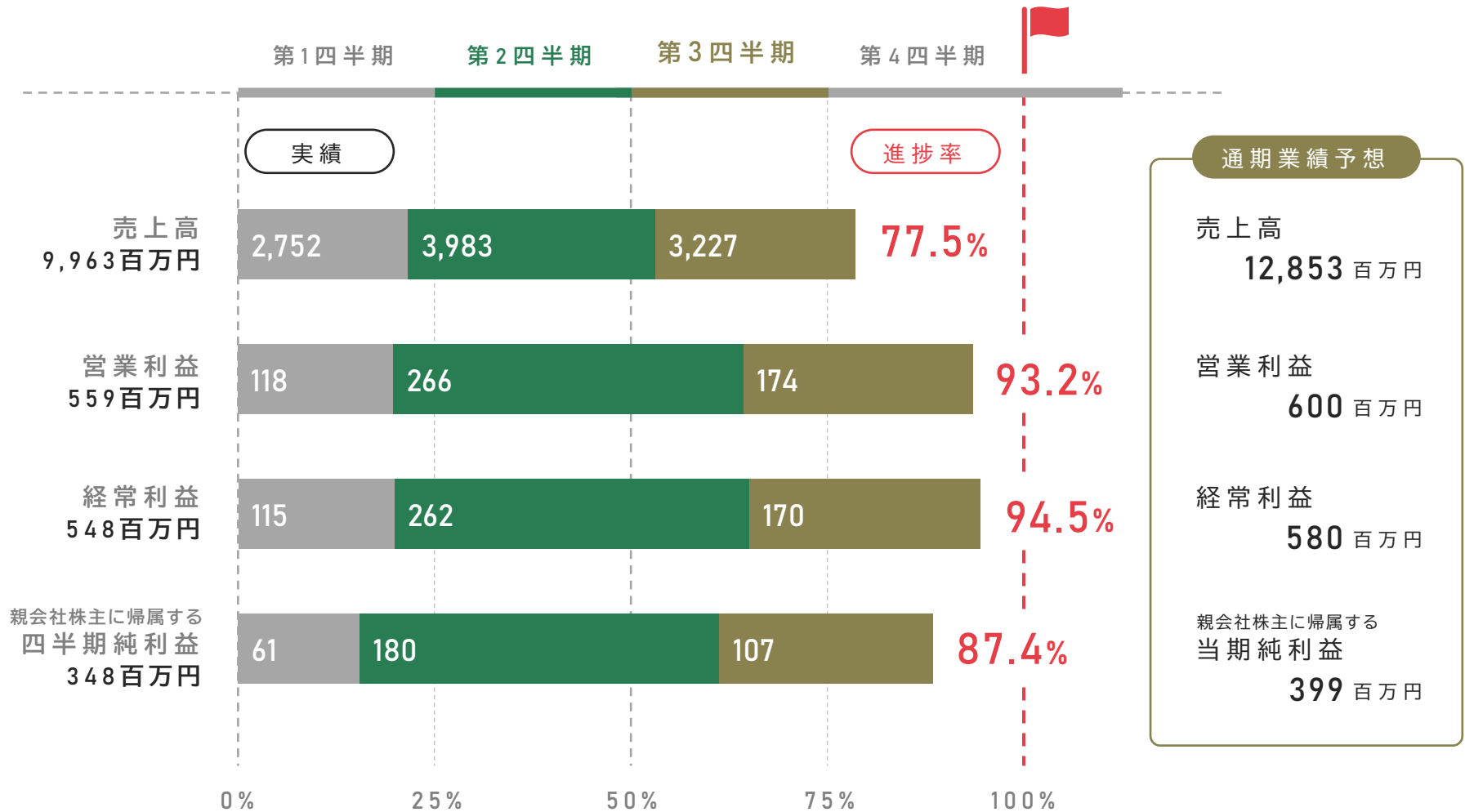
+110 百万円
+24.5%

(百万円) ■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業



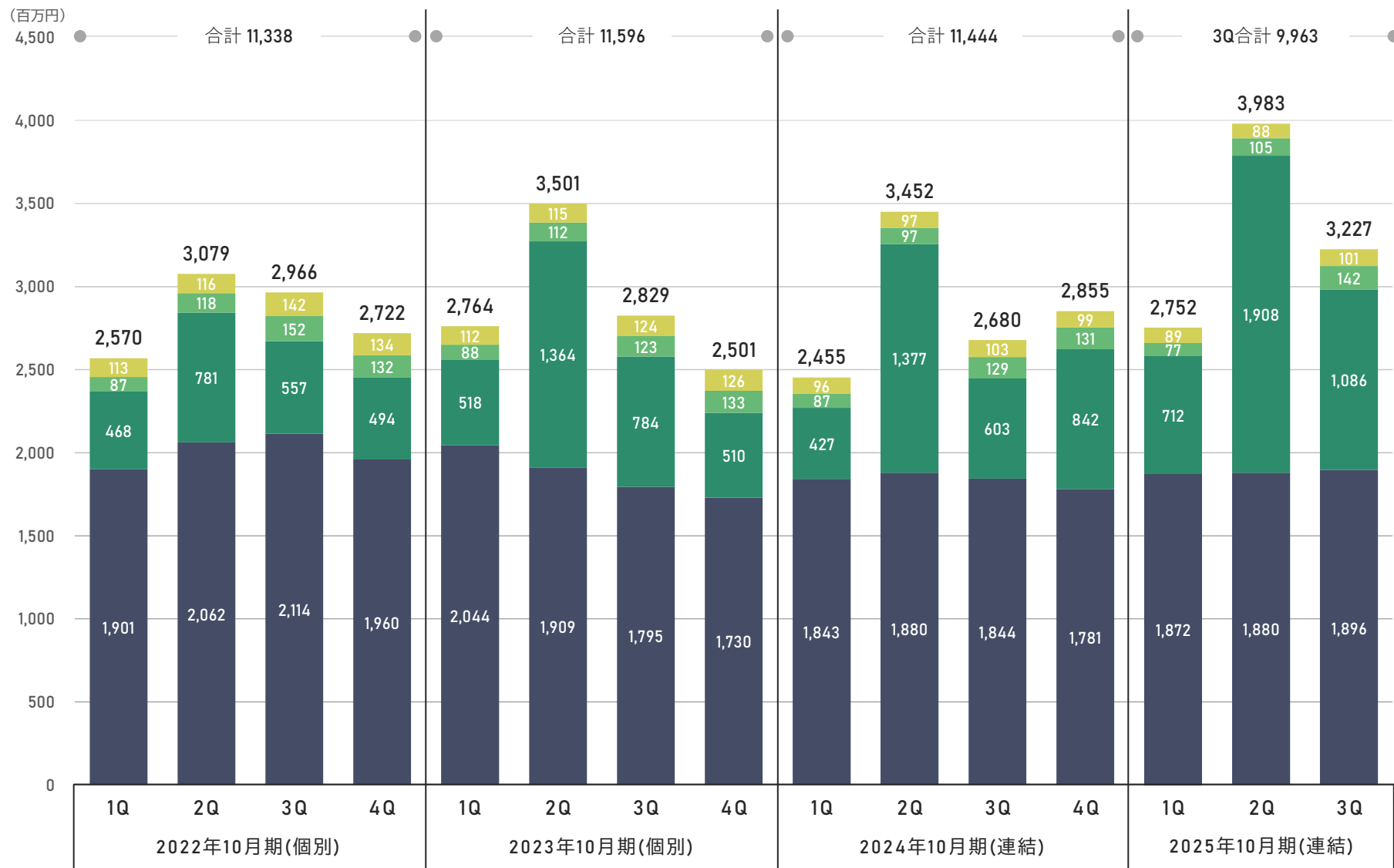
2025年10月期 通期 業績進捗率(連結)

業績は概ね想定通りに推移していることから、
2024年12月13日の「2024年10月期決算短信」で公表した業績予想に変更はありません。



売上高(事業・四半期別)

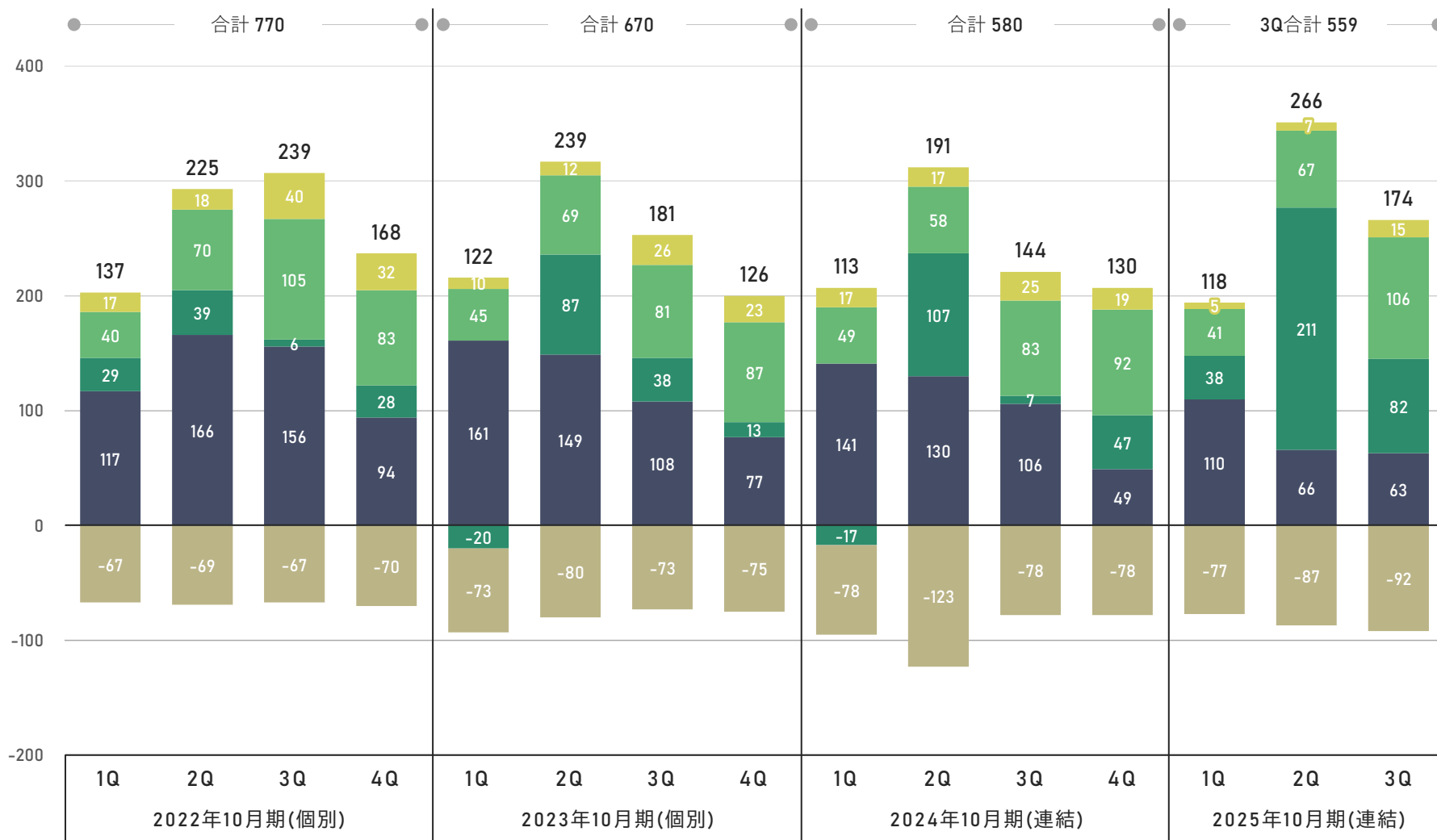
■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業 ■ 太陽光発電売電事業 ■ ライフクリエイト・不動産事業



営業利益(事業・四半期別)

■ 木材事業 ■ ハウス・エコ事業 ■ 太陽光発電売電事業 ■ ライフクリエイト・不動産事業 ■ 全社費用

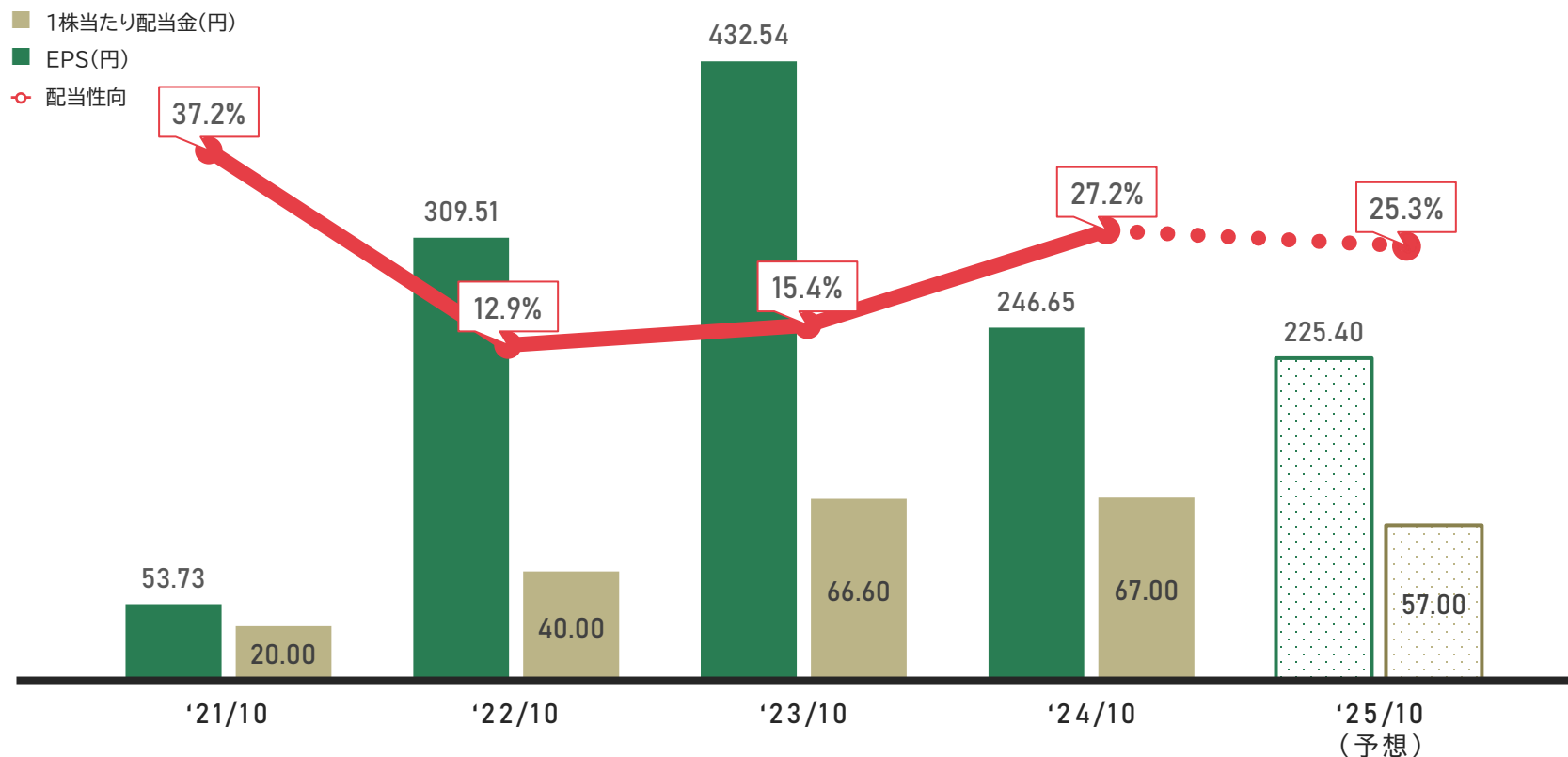
(百万円)



株主還元の基本方針

安定配当を継続し、業績の見通しや将来の事業計画、経営安定化等のための内部留保を総合的に勘案して決定

- 連結配当性向の目安を25%とする
- 最低配当金額を年間20円とする



本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。



IR 担当窓口

株式会社オービス 経理部

- ・ TEL 084-934-2621 FAX 084-934-2624
- ・ E-MAIL: ir@orvis.co.jp
- ・ URL: <https://www.orvis.co.jp>